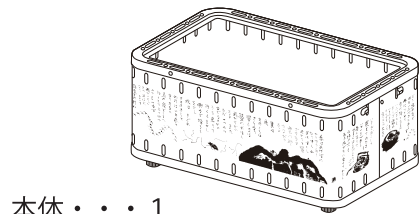


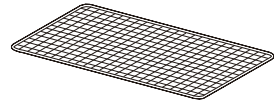
部品内容をご確認のうえ、正しく設置してください。なお、お読みになった後も取扱説明書は、大切に保管してください。

部品内容

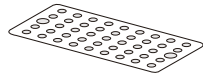
●部品材料は主に銅板製ですので手を切らないよう注意してください。
取扱いの際は必ず手袋を着用してください。



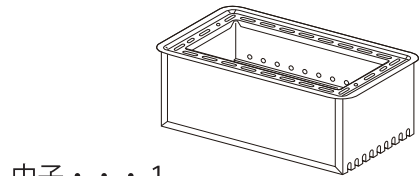
本体・・・1



網・・・1



ロストル・・・1



中子・・・1

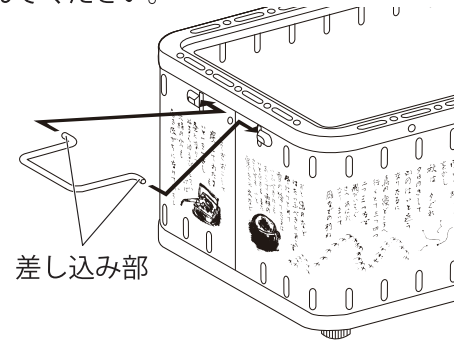


取っ手・・・4

1 取っ手の取付け

本体への取付け

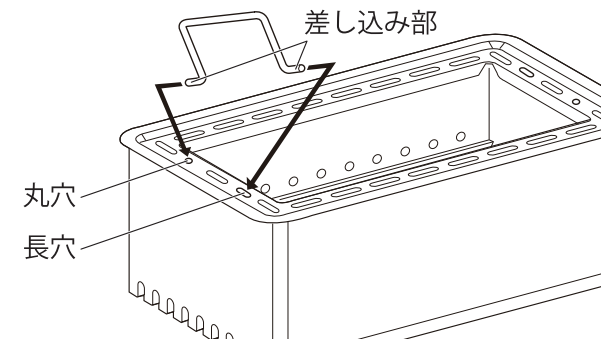
取っ手の差し込み部の片方を本体の穴に差し込んでから、もう片方を縮めて本体の穴に差し込んでください。



差し込み部

中子への取付け

先に取っ手の差し込み部の片方を丸穴に差し込み、次にもう片方を縮めて長穴に差し込んでください。



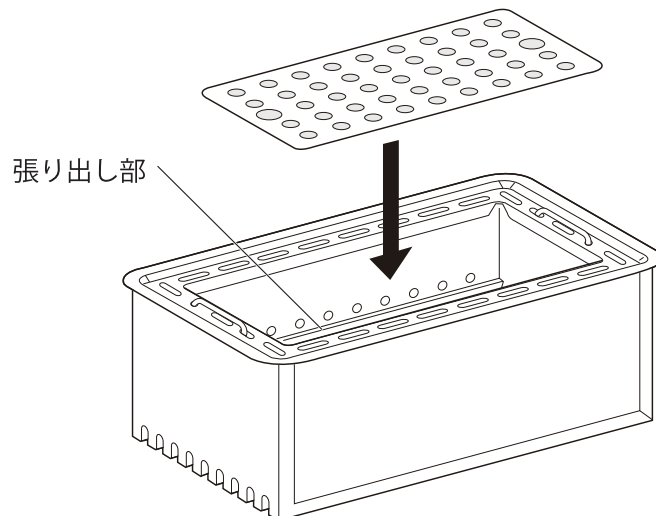
差し込み部

丸穴

長穴

2 ロストルのセット

ロストルを中子内側の張り出し部に載せてください。

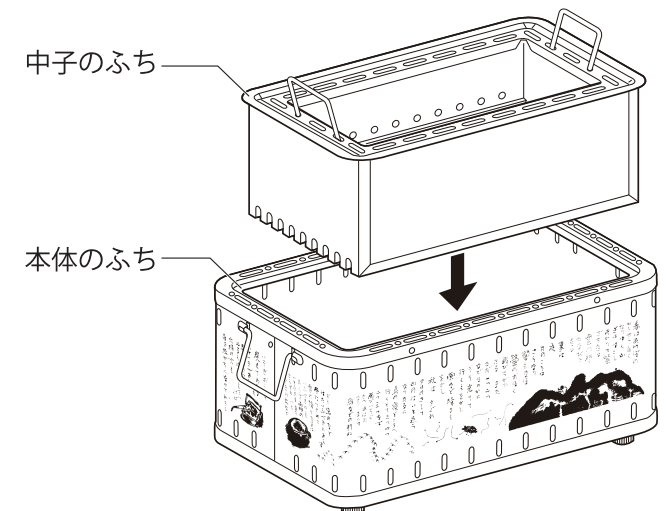


張り出し部

3 中子のセット

中子の取っ手を持ち上げ、ふちが本体のふち(1段下がっているところ)に入るように中子をセットしてください。

※購入時、中子は本体内にセットされています。

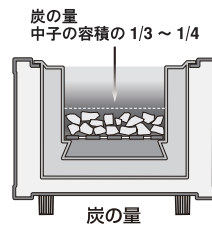


中子のふち

本体のふち

上手な炭火焼の楽しみ方

- 炭の量は、出来るだけ少なくして焼くのがコツです。目安としては「中子」の容積の 1/3 ～ 1/4 位にしてください。
- 炭と焼き物との間に適度な間隔が必要です。多く炭を入れすぎ、間隔がないと黒焦げになり、炭火焼き本来の焼き方ができません。
- 炭は「遠火の強火」が鉄則です。また、多く炭を入れすぎますと、一斉に炭がおき、シチリンの外側も熱くなりますのでご注意ください。特に黒炭は急激に温度が上がるため、入れ過ぎないように十分ご注意ください。

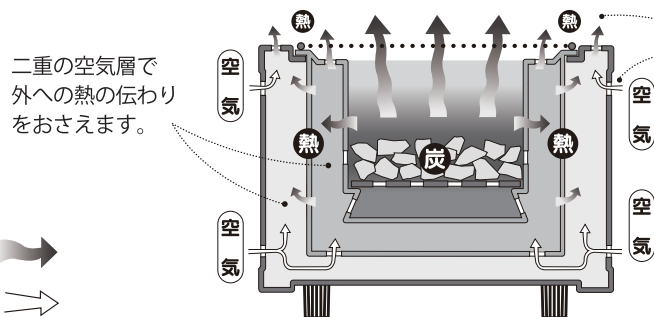


ご使用後は…

- 肉や魚の焼き汁は「中子」の灰の上に落ちますので、ご使用後も「中子」は水洗いせずに、灰を残しておいた方が、焼き汁が直接鉄板に当たらず「中子」が長持ちします。なお、灰は家庭菜園、植木鉢などに肥料としてもお使いになれます。水洗いした場合は、水分をよくふきとって油を塗り、保管してください。
- 炭はそのまま放置しても燃えつきますが、何回もお使いになる場合は「火消しつぼ」をお使いになると経済的です。

△ 部品材料は主に鋼板製ですので、ご使用後の洗浄・お手入れの際は、手を切らないよう十分注意してください。

本体が熱くなりにくい二重空気層による断熱構造



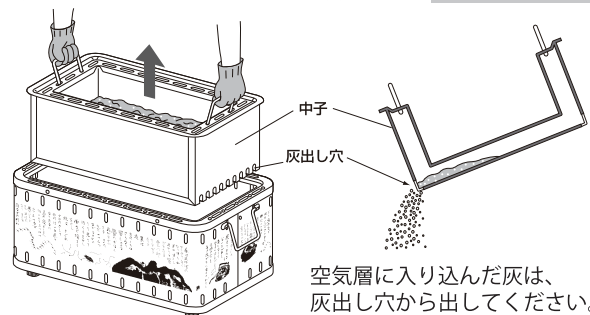
本体に空いた多数の穴より空気を取り入れ、内部から伝わる熱を上部の開口部より外へ逃がす空冷断熱方式で、本体が熱くなりにくい設計です。

便利機能について

■簡単灰捨て■

中子を取り外すことができるので、使用後の灰捨てやお手入れの際に便利です。

△ 炭が完全に燃え尽きて、本体及び中子が十分冷めたことを確認してください。

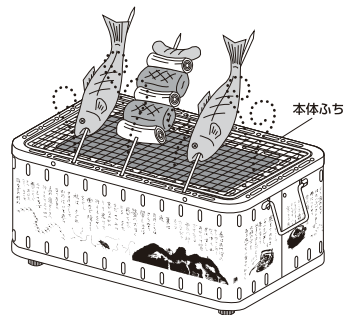


空気層に入り込んだ灰は、灰出し穴から出してください。

■串焼きも楽しめます■

本体ふちの穴には、平串や丸串を刺すことができるので串焼きも楽しめます。

△ 串の種類により、ご使用できないものもあります。



■初めてご使用になる際は

網はよく水洗いし、乾いてから食用油を塗布してご使用ください。
ご使用後は、汚れ・こげ付き等をナイロン製タワシ付きの台所スポンジやタワシなどで落とし、食器用洗剤で洗浄して、湿気を残さないように乾燥させてください。
また、炭の量によっては、まれに熱によりめっきが劣化し、白くなる場合があります。

使用上の注意事項 安全のために必ずお守りください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- △ 火おこしの際、ガソリン、灯油等は使用しないでください。火災ややけどの原因になります。
- △ 閉め切った部屋でのご使用は、一酸化炭素中毒の原因になりますので、ご使用にならないでください。室内でのご使用の場合は、換気と飛び火による火災に十分注意してください。レンジフード(換気扇)の下でお使いになると、煙の排出と換気に大変便利です。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- △ 屋外でも場所によっては使用を禁止されている所があります。ご確認の上でご使用ください。
- △ 部品は主に鋼板製ですので手を切らないように注意してください。取扱いの際は、必ず手袋(軍手等)を着用してください。なお、火おこしや調理の際はやけどなどの危険があるため純綿の軍手をご使用ください。(ビニールやゴム、化繊等の手袋は、熱により溶けて皮膚に付着する場合があります危険ですので使用しないでください。)
- △ 燃料は、炭・豆炭(チャコールブリケット)をご使用ください。
- △ 水平でない場所、凸凹な地面では使用しないでください。転倒するおそれがあります危険です。
- △ 使用中はシチリンから離れないでください。
- △ 使用中のシチリンの移動はしないでください。転倒するおそれがあります危険です。
- △ 使用中、及び使用直後は、本体上部・中子・網などが熱くなっています。やけどをしないよう取扱いに注意してください。
- △ 使用中、お子様やペットが近づかないよう注意してください。
- △ 使用中はシチリンの周囲に可燃物を置かないでください。飛び火等で火災のおそれがあります。また風の強い時にも十分注意してください。
- △ 使用に際し、消火用の水を用意してください。
- △ 燃焼中の燃料に水をかけないでください。水蒸気が上がり危険です。
- △ 本体表面にはシールを貼りつけています。本体表面に火を近づけたり、タワシなどでゴシゴシこすったりしないでください。
- △ 使用後は完全に火が消えていることを確認し、シチリンが十分冷めてから片付けてください。
- △ 屋外で使用する際、直射日光により外部が熱くなる場合があります。
- △ 炭の量や外気温の条件によっては、本体側面も部分的に熱くなる場合があります。
- △ ビニール製の敷物の上での使用はおやめください。
- △ 同梱部品以外での器具を使つての使用はしないでください。

■製品仕様■ 材質(仕上げ) 本体: スチール(焼付塗装) 網: スチール(めっき) 脚: ナイロン

ご不明点がございましたら、QRコードよりWebサイトの「お問合せ」、もしくは「よくある質問」をご確認ください。通信料金はお客様ののご負担となります。



製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●ご不明な点がございましたら下記フリーダイヤル、グリーンライフ「お客様サービス係」までお問い合わせください。

フリーダイヤル 受付窓口 0120-717152

受付時間▶9:00~17:00(土・日・祭日・夜間は留守番電話になります。)



株式会社 グリーンライフ

本社 新潟県三条市南四日町3-7-58
〒955-0852 TEL(0256)36-4001(代)
FAX(0256)36-4050

E-mail: niigata@greenlife-web.co.jp

URL: https://www.greenlife-web.co.jp